

# 平成30年度 決算 をお知らせします

■問い合わせ 財政課 ☎62-3001 (内線232)

📄 <http://www.city.gose.nara.jp/1260.html>

※掲載している数値および割合は端数調整を行っています。

平成30年度の一般会計決算は、歳入148億8,642万円、歳出144億5,770万円、差引4億2,872万円で、翌年度への繰越事業に伴う繰越財源3,340万円を差し引いた実質収支額は、3億9,532万円の黒字となりました。

## 一般会計決算

歳入	歳出	翌年度に繰り越すべき財源	実質収支額
148億8,642万円	144億5,770万円	3,340万円	3億9,532万円

みなさんに納めていただいた税金は28億2,195万円で、軽自動車税は増加しましたが、市民税や固定資産税等は減少し、市税全体としては前年度と比較して6,169万円減少しました。また、国から交付される地方交付税は前年度より1億244万円減少し、市が自由に使えるお金が減少しました。

## 平成30年度 会計別決算額

〔△はマイナスを表します。〕

会計名	歳入 A	歳出 B	差引 C = A - B	繰越額 D	実質収支額 E = C - D	
一般会計	148億8,642万円	144億5,770万円	4億2,872万円	3,340万円	3億9,532万円	
特別会計	国民健康保険	33億2,396万円	37億1,881万円	△3億9,485万円	0円	△3億9,485万円
	学校給食費	7,063万円	7,139万円	△76万円	0円	△76万円
	国民宿舎 葛城高原ロッジ	8,890万円	8,823万円	67万円	0円	67万円
	下水道事業	8億9,533万円	8億9,508万円	25万円	25万円	0円
	介護保険事業	35億3,692万円	34億7,828万円	5,864万円	0円	5,864万円
	後期高齢者 医療保険事業	4億2,007万円	4億1,959万円	48万円	0円	48万円
企業会計	会計名	収入 A	支出 B	当年度純利益 C = A - B	前年度繰越 利益剰余金 (※) D	当年度未処分 利益剰余金 (※) E = C + D
	水道事業会計 (収益的収支)	9億2,087万円	8億9,521万円	2,566万円	16億4,643万円	16億7,209万円

※利益剰余金は、現金・預金残高だけでなく、土地、建物、機械、構築物等の有形固定資産を含んでいます。

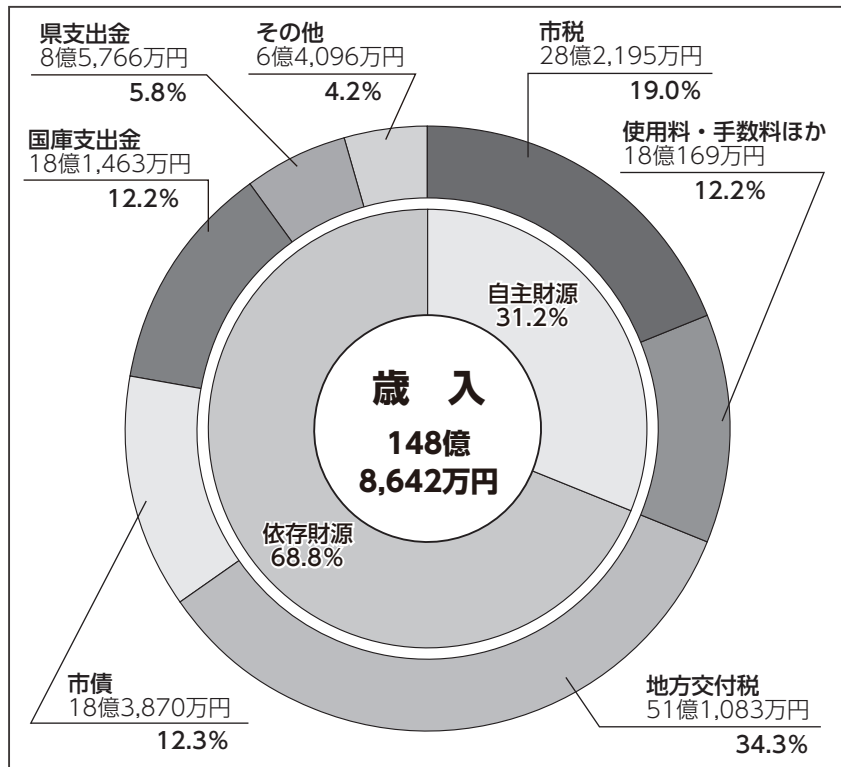
### ▶ 特別会計・企業会計について

特定の事業を行い、一般会計とは別に会計を行うのが特別会計です。

企業会計とは経済活動を一定の方式によって行う会計で、御所市では水道事業会計がこれにあたります。

# 平成30年度「一般会計決算」の内訳をお知らせします。

歳入総額 148億8,642万円



## ◎歳入

…市に入ったお金 (収入)

- 市税…市に納めていただいた税金
- 地方交付税…国が徴収した税金 (所得税など) の中から市の財政状況に応じて交付されたお金
- 市債…大きな事業を行うときに、国、県および金融機関などから借り入れたお金
- 国庫支出金・県支出金…市が行った特定の事業に対して国や県から受けたお金

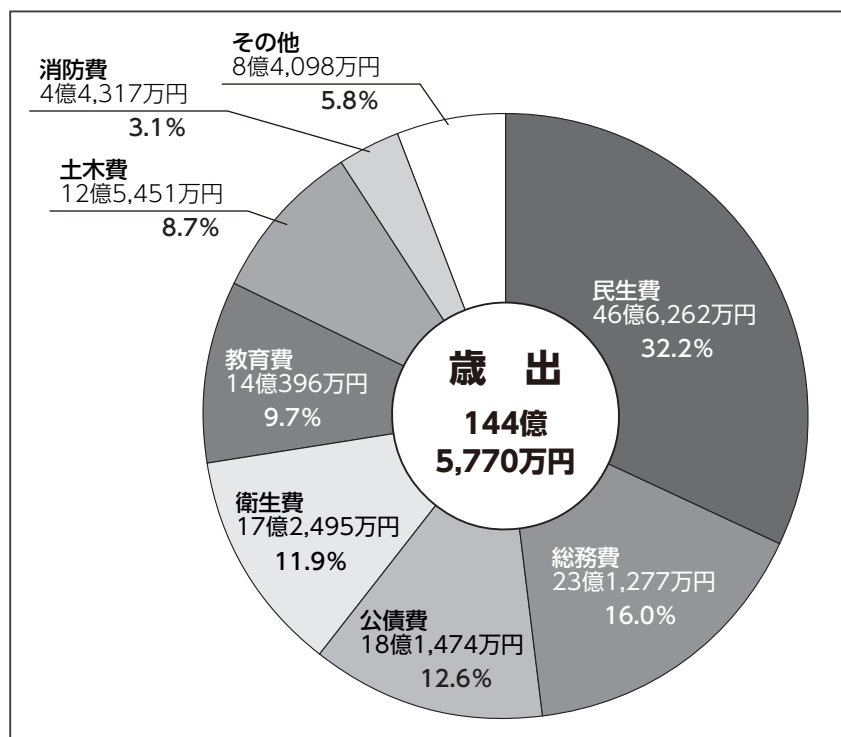
☆自主財源

…市が自主的に収入できたお金

☆依存財源

…国や県の基準に基づいて交付されたり、割り当てられたお金

歳出総額 144億5,770万円



## ◎歳出

…市が使ったお金 (支出)

- 民生費…高齢者、障害者、児童などの医療・福祉などに使ったお金
- 総務費…市役所の管理運営、課税徴収、住民窓口、選挙、統計などの事務に使ったお金
- 公債費…市債 (借金) を返済するために支払ったお金
- 衛生費…保健衛生、健康管理、ゴミ処理などの生活環境に使ったお金
- 教育費…小・中学校、幼稚園、社会教育、文化施設などに使ったお金
- 土木費…道路、公園、市営住宅などの整備や事務に使ったお金
- 消防費…消防・防災活動に使ったお金

《一般会計》

市税・市債残高・基金残高から見る

# 財政状況

## 市税の状況

御所市の税には、市民税・固定資産税・軽自動車税・市たばこ税・都市計画税があります。平成30年度においては、軽自動車税は増加しましたが、市民税や固定資産税等が減少しました。その結果、市税全体では、昨年度と比較して約6,169万円の減収となりました。

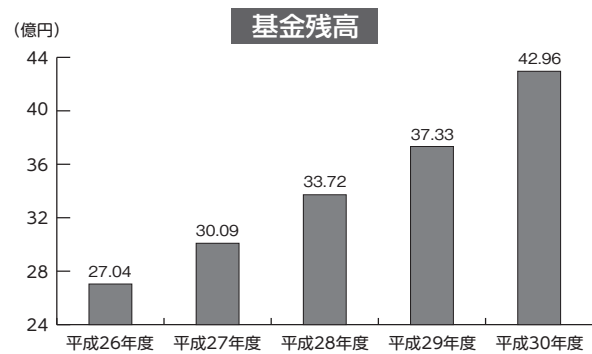
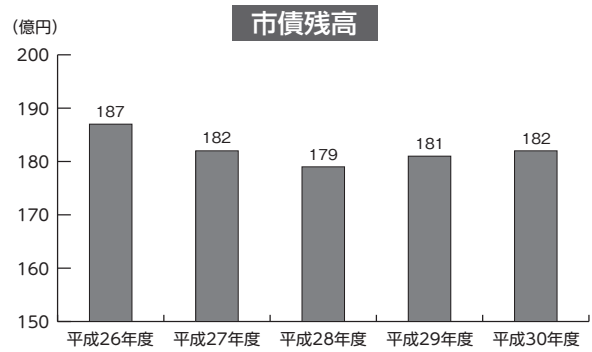
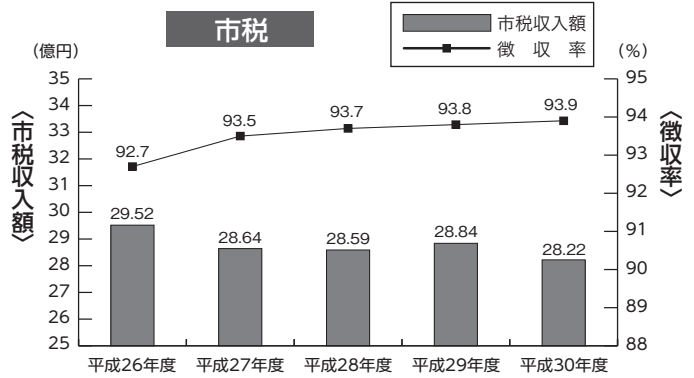
## 市債残高の状況

市債残高については、平成26年度～平成28年度は新規発行の抑制や繰上償還の実施により減少傾向にありました。

しかしながら、平成30年度については、平成29年度に引き続き発行額が償還額を上回っており、新たに18億3,870万円を発行し、16億7,406万円を償還したため、残高は182億4,250万円となり、平成28年度以降は若干の増加傾向となっています。

## 基金残高の状況

市の貯金である基金は、平成30年度末残高は42億9,609万円となりました。



## 各種指標から見る 財政の健全度

※「早期健全化基準」とは、いわゆるイエローカードのことで、この基準を超えると「財政健全化計画」を策定し、財政の健全化に取り組まなければならないとされています。

平成30年度の一般会計の実質収支は黒字となりましたが、果たして健全な財政運営ができていますでしょうか？いろいろな指標を使って見てみましょう。

健全化判断比率	項目	内容	平成30年度 (御所市)	早期健全化基準(※)
健全化判断比率	実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	—	13.89%
	連結実質赤字比率	全ての会計の赤字の割合	—	18.89%
	実質公債費比率	年間の借金返済額の割合	13.5%	25.0%
	将来負担比率	将来に負担が見込まれる負債の割合	113.6%	350.0%

「健全化判断比率」は早期健全化基準以下となっています。

### ◎ 経常収支比率 105.9% ◎

経常収支比率とは、経常的な収入で経常的な支出をまかなえているかを判断するための指標です。100%を超えると臨時的収入（特別交付税等）を経常的な支出に充てたり、基金（貯金）の取り崩しが必要な状況となります。平成30年度決算の経常収支比率は105.9%で、前年度の103.6%から2.3ポイント悪化しており、依然として100%を上回っています。

平成 30 年度に実施した主な事業（一般会計）

**民生費**  
**老人福祉センター施設整備事業** 3,839万円  
 施設内の熱源機器（ボイラー）の入替工事および配管更新工事を行いました。  


**総務費**  
**市制施行60周年記念事業** 1,490万円  
 市制施行60周年を祝し、1年を通じてさまざまな記念事業を行いました。  




**衛生費**  
**健康教育指導事業** 323万円  
 講座受講者やイベント参加者に向けて、減塩対策等のための運動指導や食事指導などを行いました。  
**浄化槽設置整備補助金事業** 574万円  
 特定の要件を満たす家庭用浄化槽を設置した人に対して、補助金を交付しました。

**教育費**  
**小・中学校施設大規模改造事業** 1億744万円  
 市内4中学校の空調整備工事および市内7小学校の空調設計を行いました。

**土木費**  
**住宅取得補助事業** 1,350万円  
 定住促進に向けて、市内の住宅を取得した若年世帯に対して、補助金を交付しました。

**消防費**  
**防災情報メール配信システム整備事業** 103万円  
 防災情報を発信するためのメール配信システムを構築しました。（防災情報メールを受信するには登録が必要です。）

**農林業費**  
**農産物生産振興促進事業** 816万円  
 御所市の農作物のブランド化に向けた活動に取り組みました。  
  
**新規就農総合支援事業** 300万円  
 就農初期段階の青年就農者に向けて、補助金を交付しました。

**商工費**  
**奈良盆地周遊型ウォークルート案内板設置事業** 670万円  
 奈良盆地周遊型ウォークルートに指定されている「巨勢の道」コースの案内看板を設置しました。  


平成30年度  
 一般会計決算額を  
 市民1人あたりで  
 見てみると…

平成30年度一般会計決算額を、住民基本台帳人口2万5,881人（平成31年3月31日現在）で割り、市民1人あたりの収入やかかった経費（支出）を算出しました。

収入	57万5,187円	(内、市税収入額10万9,035円)
支出【経費】	55万8,622円	(内訳)
		民生費 18万 156円
		総務費 8万9,362円
		公債費 7万 119円
		衛生費 6万6,649円
		教育費 5万4,247円
		土木費 4万8,472円
		消防費 1万7,123円
		その他 3万2,494円



■問い合わせ 財政課 ☎62-3001（内線232）  
 ☒ <http://www.city.gose.nara.jp/1260.html>